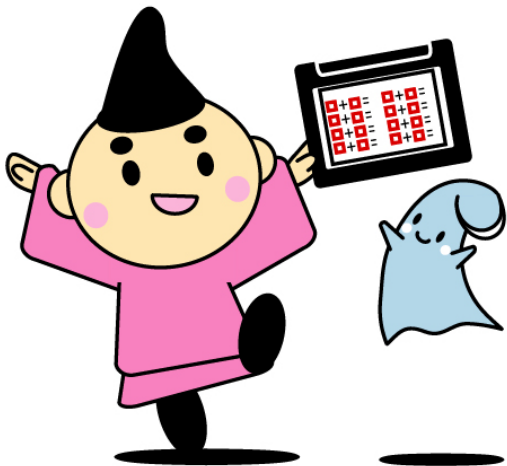


令和3年7月15日(木)
第1回総合教育会議 資料2

茅ヶ崎市のG I G Aスクール構想について

茅ヶ崎市教育委員会



GIGAスクール構想の実現における学校での学び

A一斉学習

○興味・関心を高める場面での活用

【教材の掲示の場面】

・学習課題を効果的に掲示・説明する

(児童・生徒への端末に動画・アニメーション、画像等を配信することにより、興味・関心を高めることができる)

C協働学習

○学びを共有する場面での活用

【発表や話し合い】

・グループや学級全体での話し合い

【協働での意見整理】

・複数の意見・考えを議論して整理

【協働製作】

・グループでの分担、協働による作品の制作

【学校の壁を越えた学習】

・遠隔地や海外の学校等との交流事業

○自分の考えを形成したり表現したりする場面での活用

【調査活動】

・インターネットを用いた情報収集・写真や動画等による記録

【思考を深める学習】

・シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

【表現・製作】

・マルチメディアを用いた資料・作品の制作

【個に応じた学習】

・一人一人の習熟等に応じた学習

B個別学習



国が示す授業での活用方法の例

○国語

書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる

- ・文章作成ソフトで文章を書き、よりよい文章作成に役立てる
- ・文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲する。



○理科

観察、実験の結果について、動画などを使ってより深く分析・考察する

- ・観察、実験を動画等で記録することで、現象を科学的に分析し、考察を深める
- ・観察、実験、考察のレポートやプレゼンテーション資料などを、写真やグラフを挿入するなどして、一人一人が主体的に作成する



○外国語

海外とつながる「本物のコミュニケーション」により、児童・生徒の発信力を高める

- ・一人一人が海外の児童・生徒とつながり、英語で交流・議論を行う
- ・ライティングの自動添削機能やスピーキングの音声認識機能を使い、児童・生徒のアウトプットの質と量を大幅に高める



○社会

国内外のデータを加工して図表化したり、地図情報に統合したりして、深く分析する

- ・各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
- ・分析した情報を、プレゼンソフトでわかりやすく加工して発表する



○算数・数学

関数や図形などの変化の様子を図表化して、様々な値で繰り返すことにより、理解を深める

- ・画面上に表示した二次関数のグラフについて、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察する。
- ・正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して、正多角形の作図を行う

学年別活用例(教科の目標を達成するための活用)

小学校低学年での活用例

- 国語
 - ・自分の音読を録音し、聞くことで効果的な読みになるようにする
 - ・漢字の筆順を確認する
- 算数
 - ・苦手な計算を反復練習する
- 生活
 - ・観察の記録を写真や動画として残す
- 体育
 - ・自分の動きを撮影し、確かめることで自分の動きを高める

小学校中学年での活用例

- 国語
 - ・ローマ字入力の練習をする
- 社会
 - ・WEB検索等を利用し、情報の収集・整理をする
- 理科
 - ・実験を動画で撮影し、繰り返し見返すことで考察に役立てる
- 音楽
 - ・様々なリズム・パターンを組み合わせる音楽をつくる
- 総合的な学習の時間
 - ・課題について、必要な情報を収集し、資料作成やプレゼンテーションツールを使った発表を行う

学年別活用例(教科の目標を達成するための活用)

小学校高学年での活用例

○国語

- ・相手を意識した、より効果的な発表ができるよう自分の発表を動画撮影し、見返す

○算数

- ・正多角形の学習においてプログラミングによる作図等を行い、概念の理解を深める

○理科

- ・電気の性質の学習においてプログラミングを活用することにより、電気の制御の概念の理解を深める

○外国語

- ・外国にいる子どもとのオンラインでの交流を行う
(例 ホノルル市との交流等)

中学校での活用例

○数学

- ・表計算ソフトを使い、集計・分析を行う

○技術

- ・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツによるプログラミング学習を行う

○総合的な学習の時間

- ・フォーム等を使いアンケートによる効果的な情報の収集を行う
- ・情報の整理・統合を行うとともにプレゼンテーションツールを使った効果的な発表を行う。

本市が目指すICTを活用した学習の形（基本的な使い方）

あくまでも補助的なツールとして ～ICT活用は手段～

最も有効な活用の方法として、課題の共有、そして子どもたちの考えの共有が挙げられる。

